

## 胸部心臓血管外科この1年

胸部心臓血管外科医長 眞 岸 克 明

## 診療スタッフ

平成13年4月に前医長吉田博希が根室市立病院副院長として転出し、以降和泉裕一（診療部長）、眞岸克明（医長）、田中和幸（医員）、中西啓介（医員）の4人体制でしたが、11月からは田中が旭川医科大学第一外科へ転出、光部啓治郎（医員）が加わり診療にあつております。

## 診 療

平成13年の手術例数は235例と前年とほぼ同数でした。冠動脈バイパス術は若干減少いたしましたが、心臓弁疾患、胸部大動脈疾患が増加いたしました。冠動脈疾患では、侵襲の軽減から当科でも積極的に人工心肺を使わない心拍動下冠動脈バイパス術を行いました。緊急症例や左冠動脈主幹部狭窄病変には人工心肺下の心拍動下手術を7例に導入し、良好な術中術後経過が得られております。

大動脈解離、大動脈瘤症例では、症例によりステントグラフト内挿術を選択し、患者さんの負担軽減、在院日数の短縮を目指しております。以下に平成13年の手術症例を示します（表1）。

## 論文・学会活動

論文発表は5編で原著論文3編、症例報告2編でした。学会における発表は21演題で、日本心臓血管外科学会や脈管学会など全国学会での演題は5題（シンポジウム1、ワークショップ1を含む）でした。地方会でも心血管系疾患を中心に積極的に発表して参りました。さらなる症例の蓄積と検討を重ね、治療成績向上を目指します。

## お わ り に

塩狩峠以北、稚内市や利尻島に至る広範囲の医療圏で心血管系の緊急手術が必要な患者を扱う機会が多く、患者搬送に時間がかかります。深夜、休日の手術も多く長時間の手術も多くなります。各診療科、手術室スタッフ、臨床工学科、放射線科、検査科はじめ、看護スタッフほか多くの関係者にご協力をいただき大変感謝いたしております。

また、今までの症例を検討し今後の治療成績向上を目指したいと思いますので、今後とも宜しくお願いいたします。

(表1)

平成13年手術症例

1. 心臓大血管	45 例
冠動脈疾患	22 例
弁膜疾患	10 例
胸部大動脈疾患	12 例
心筋縫縮・止血	2 例
2. 末梢血管疾患	116 例
腹部大動脈瘤	14 例
末梢動脈疾患	50 例
頸動脈狭窄	4 例
下肢静脈瘤	40 例
内シャント	6 例
静脈閉塞	2 例
3. 胸部・肺疾患	33 例
肺癌	17 例
気胸	9 例
膿胸	2 例
縦隔・気管	3 例
胸膜・リンパ節生検	2 例
4. その他	41 例
総数	235 例